

# こんにちは 魚沼市議会 No.59 です



## 中学生議会

湯之谷中学校3年生  
8名による一般質問

(詳しくは18～19ページをご覧ください)



定例会・議会の会派・市長行政報告	2～3ページ
補正予算・議案賛否の状況	4ページ
一般質問	5～13ページ
行政視察報告	13ページ
常任・特別委員会報告	14～16ページ
議会報告会	17ページ
中学生議会を開催しました	18～19ページ
市民の声・あとがき	20ページ

## 新年の挨拶



議長 森島守人

新年おめでとうございます。

市民の皆様には、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返ると、国政では、10月の解散総選挙で与党、自民・公明党の連立政権の圧勝により一部政界再編等もありましたが、安倍内閣の継続となりました。

本年こそは当地域までアベノミクスによる景気の回復が実感できる経済政策の進展を期待するものであります。

また、天皇陛下の退位が、平成31年4月30日とする政令が決定され、平成の時代が31年で幕を閉じることになりました。

市内では、7月の梅雨前線豪雨による災害が発生しましたが、早期復旧に取り組んでいただいております。

さて、今年、魚沼市にとっては合併以来の課題でありました新庁舎建設に着手する年になります。50年に一度の大事業であります。これからの市政運営、行財政改革のあり方とあわせ、魚沼市を市民の皆さんと一緒に考え、つくり上げていく新たなスタートの年として位置づけられるものと考えます。

市議会も、昨年の改選により20人の新たな体制でスタートしました。魚沼市の進展のため、活発な議論を重ね、市民の福祉向上のため邁進してまいりますので、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆様のみまますのご健勝とご多幸、そして魚沼市のさらなる発展と本年が飛躍の年となりますことをご祈念申し上げ、新春のご挨拶といたします。

## 第4回定例会報告

平成29年第4回（12月）定例会が、12月4日から12月22日までの19日間の会期で開かれました。

議会初日に、各委員会委員長の報告から始まり、平成29年度魚沼市一般会計補正予算（第6号）が可決されました。

12月6、7日には17人の議員から市政全般にわたる一般質問が行われました。7日には小出特別支援学校からのコーヒーサービスもあり、賑わいを見せていました。

22日に最終日を迎え、条例の一部改正等、全議案が可決となりました。

※議案賛否の状況は4ページをご覧ください。

## 議会の会派をお知らせします

※  
12月13日付で新しい会派が結成され、構成が変わりましたのでお知らせします。

○ 代表者

名称	しんせいクラブ	新魚沼クラブ	創生市民の会	日本共産党	みらいの風	会派所属なし
所属議員	○ 関矢 孝夫 富永三千敏 渡辺 一美	○ 遠藤 徳一 志田 貢 本田 篤 森山 英敏	○ 佐藤 敏雄 岡部 計夫 大平 栄治 佐藤 肇	○ 大屋 角政 大平 恭児	○ 大桃 俊彦 浅井 宏昭 星野みゆき	星 直樹 大桃 聰 高野甲子雄 森島守人

※会派とは 基本的な理念を共有する議員で構成する政策集団です。魚沼市議会では2人以上で会派を結成することができます。

## 主な市長行政報告

### 〈12月4日分〉

#### ●代表監査委員の辞任について

小島代表監査委員から、一身上の都合により辞表が提出され、これを承認し、11月30日付けで退職した。

#### ●新庁舎建設基本設計について

これまで市民ワークショップ、市民対話集会、市民説明会、議会等でご意見をいただき、基本設計を成案とした。

#### ●有機センターの肥料取締法違反について

特殊肥料ではなくなった約1,000トン余りの肥料については、普通肥料として9月25日に登録され、ユリ農家等を中心に供給を行った。また、凝集材を使用していない畜ふんを使用した特殊肥料については、届出事項の変更手続を県から受理いただき、供給した。また、今回の法違反により出荷自粛や県の認証を取り消された被害について、JAから協力いただき対象者を選定し、5名、被害金額41万2,640円を支出することとし、補正予算に計上した。なお、国では11月15日付けで、凝集材を含む畜産堆肥は特殊肥料と位置づける改正が行われた。

#### ●市内郵便局との連携協定の締結について

市内郵便局とは、災害時における協力に関する協定を既に締結している。さらに、郵便局が配達時に子どもや高齢者などの異変、道路やライフライン・不法投棄などの異常に気づいた場合に市に情報提供をいただく協定を10月19日に締結した。また、11月24日には、ふるさと納税をいただいた方への返礼品のひとつに、郵便局による見守り訪問サービスのメニューを加えた。

#### ●損害保険ジャパン日本興亜株式会社との協定の締結について

市民や市内企業が大規模災害に備えるための地域防災力の向上や、災害時のドローンを使った情報収集などの協力を目的に、11月16日に協定を締結した。

#### ●東日本連携・創生フォーラムへの参加について

さいたま市の持つ交通の結節点や東日本の玄関口という立地を生かした広域連携による地方創生の推進を図る「東日本連携・創生フォーラム」に本市も参加した。ほかの参加自治体と連携を図り、本市の地域産業の活性化、交流人口の拡大を図りたい。

### 〈12月22日分〉

#### ●水の郷工業団地に係る用地売買仮契約について

第2期事業分の4ヘクタールについて、12月7日にマルコメ株式会社のグループ企業である「魚沼醸造株式会社」と土地売買に関する仮契約を交わした。

#### ●浅草岳温泉の仮復旧について

7月の豪雨災害により浅草岳温泉が供給できない状況だったが、引湯管の仮復旧により供給を再開した。

#### ●有機センターにおける畜ふん受け入れ再開について

国の法改正に伴い新潟県においても、有害性が認められない凝集促進材を使用した肥料を用いて生産された農産物を特別栽培農産物の要件を満たすこととした。これにより、有機センターで受け入れをストップしていた養豚農家からの畜ふん受け入れを12月15日から再開し、特殊肥料として生産している。

#### ●平成31年4月統合予定の入広瀬中学校・守門中学校の新学校名について

入広瀬中学校・守門中学校統合準備委員会において選考を進め、校区内のアンケート結果などを踏まえ「魚沼市立魚沼北中学校」を採用するよう教育委員会に答申があった。教育委員会で検討した結果、この名称を採用することにしたとの報告を受けた。



# 平成30年以降の米政策の取り組みを問う



佐藤 敏雄 議員

**答** 農家の意向を聞きながら進めていく

**問** 魚沼市農業再生協議会で平成30年以降の具体的政策の方向を示した。

1 市独自で「主食米作付目安値」を設定し、コシヒカリの作付比率の分散を図るとしているが、米で売るだけでなく6次産業として、おにぎり・餅・酒などの活用は考えられないか。

2 「魚沼市独自支援」に加入し協力を負担することが助成金の支払条件となっているが、農家の負担する協礼金、市や県・国との負担割合はどうか。

3 生産者への周知体制は、今後どのように理解と協力を得るのか。

**答** 1 既に約2%が分散化されており、来年

の目標を3%としている。意向調査をしながらプランを示し、分散化を進めていく。

2 12月11日の市農業再生協議会で決定するが、現段階では農家の協礼金が6割、市の補助金が4割という計画である。

3 2回のチラシ配布と市内6地区での説明会を行った。今後もより丁寧な説明を行い周知を徹底する。

行政事務のICT化について

**問** 行政視察や会派研修によりICT化の必要性を再確認した。

1 第1回定例会で市長は「タブレットの導入は議会の意思決定に任せ

る」と答弁したが、議会で決定すれば即導入できるか。

2 議会だけでなく、市当局全体で導入の検討をすべきと思うがどうか。

3 新庁舎の整備に合わせてICT環境を整える必要があると思うがどうか。

**答**

1 コスト試算により導入のメリットが確認される場合には予算措置を行っていただきたい。

2 庁内での通常の事務処理はパソコン端末のほうに優れている。タブレット端末の導入は今後の検討課題とする。

3 設計には盛り込んでいないが、別途施工する方向で検討している。

# 市内5スキー場の存続について問う



星 直樹 議員

**答** 事業者と協議をしながら方向性を判断したい

**問** 1 市との契約期間満了が2年後に迫っている。第2回定例会での

一般質問に対し「将来の状況、推移を見つつ、時期を見て判断」との答弁があった。明確な方向性を示す時期だと思いが市長の見解を問う。

2 公共施設再編整備計画の中から外し、スキー場単体で考えることはできないか。

2 公共施設再編整備計画では市全体の施設サービスの最適な配置の実現を目的としている。したがって、スキー場を外して単体で考える予定はない。

中学生議会の今後について

**問** 1 11月に行われた「中学生議会」は、今後も市内中学校を対象に1年に1回行うことが計画されている。第1回目を終えた市長、当局の所見を問う。

2 次代を担う若者の意見に対し、実際に予算を

付けるなどの考えはあるのか。

**答** 1 中学生議員の、楽しく活気ある市になってほしいという具体的で前向きな提案を交えた質問をいただき、今後の市政運営に生かせる有意義な議会だったと感じている。

2 若い方の意見は大切にすべきと考えており、いただいた意見を市政進展に向けて反映できるところがあれば実現したい。

後となる平成32年度以降も、事業者の要望に応じて貸借契約を更新することは可能と考えるが、施設整備等に要する費用は各事業者において対応す

るようになる。事業者と協議しながら方向性を判断したい。

### 温泉街エリア・リノベーションプロジェクトに取り組もう



遠藤 徳一 議員

**答** 民間主体の活動を側面から支援したい

**問** 当市の観光資源、大湯温泉街エリアの価値を高め、滞在型観光、食の発信、インバウンド施策、移住策等の各種成長分野の発信拠点として推進すべきだ。

ジェントとともに温泉街改革をしてはどうか。  
**5** 温泉資源を強みに移住政策に取り組んでほしいか。

成にかかわらず、これまでどおり民間活動を支援していく。  
**5** まずは来訪者が心地よく過ごせる地域づくりを推進し、地域の方との良好な関係構築を図る必要がある。

**1** インバウンド受け入れに適した環境下にあるプロジェクト化し、各種産業がつながり合う仕組みづくりに取り組んでほしいか。

**答** **1** プロジェクト立ち上げについては、旅館組合など民間を主体とした活動に期待し、その活動を側面から支援していきたい。

**2** インバウンド対策は県や市の観光協会と連携した誘客活動が第一であり、職員派遣は考えていない。

**2** インバウンド施策のため、職員をアジア諸国の自治体に派遣させ双方の政策として取り組むべきだがどうか。

**2** インバウンド対策は県や市の観光協会と連携した誘客活動が第一であり、職員派遣は考えていない。

**問** 市町村が企業に対し空き施設を紹介し進出している。当市も取り組んでほしいか。

**3** 食への意識高揚のため専門分野の先生による指導を受けてはどうか。  
**4** 公民連携基本計画を打ち立て、公民連携エー

**3** 必要に応じて適任の方をお願いしたい。  
**4** 市内の温泉街には公共施設が少ないため、活性化策としては限定的な効果と思われる。計画作

**答** 既存庁舎や空き店舗の利活用の中でさまざまな方策を検討しながら積極的に誘致活動を行いたい。

### 心に傷のある子どもの学校の創設を



浅井 宏昭 議員

**答** いくつかの条件をクリアしないと実現は難しい

**問** ストレスのない田舎で山の学校というホームステイ形式で、現在もじいちゃん、ばあちゃんがいるお宅と一緒に住んで、多様なことを学ぶ学校を入広瀬につくってみたいかどうか。

ある。魚沼市の交通センターがなくなると、山間部の市民の免許の更新がしにくくなる。遠出をあまりしない女性たちが魚沼から一番近い、越路免許センターに行くのは大変なことだと思うが、市長はこのことについてどう考えているか。



**答** 専門の指導者やカウンセラー、教員OBなどのスタッフや、学校復帰に向けたプログラム作成などが必要となる。何より受け入れ側の入広瀬地域の住民の理解と協力が不可欠であり、こうした条件をクリアしないと実現しない案件だと考える。

**問** 高年齢者の免許証の返納、若者の自動車離れ等で免許保有人口が減少し、経営難の状況が続いている。平成32年度には自然解散となる可能性

**答** 市内で免許更新ができなくなると市民サービスの大きな低下につながるから、存続は必要と認識し、平成29年度から魚沼市交通安全協会への補助金を増額した。今後も継続できるように対応していく。

# 平成30年度予算編成方針を問う



関矢 孝夫 議員

**答** 5点について特に力を注ぎ地域経済の活性化を図る

**問** これまで先送りしてきた事案や遅れている

事務などのほか、今実施しなければ今後の成果が期待できない案件については、その解決と事業化に向け検討する。また、平成30年度は動き始めた地域経済の推進をさらに加速させ、特に力を注ぐとしている①人口減少問題対策②地域経済の活性化③健康・福祉の充実④教育の充実⑤安全・安心な地域づくりの5点をあげているが、市長が考えている具体的な施策を問う。

元業者の受注機会の拡大策を継続的に行う。

③健康・福祉の充実は、地域包括支援センターをより身近な場所に設置し相談体制を充実させ、また、成人を対象とした歯科健診の実施を検討している。

④教育の充実は、タブレット端末などICT機器を活用した教育の推進や、総合学習の充実を図り郷土愛を育む施策に取り組む。⑤安全・安心な地域づくりは、洪水ハザードマップの見直し、地域要望への対応や北部地域の防災無線デジタル化に取り組む。

**答** ①人口減少問題対策は、妊婦健診の充実や子育ての駅整備などを進める。また、働く場の確保と住宅施策の展開を図る。

②地域経済の活性化は、森林資源の利用促進や地

**問** 国では、「地域の生活や暮らしを守るため、

地域で暮らす人々が中心となって形成され、地域内のさまざまな関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき、地域課題の解決に向けた取り組みを持続的に実践する組織」として地域運営組織と定め、総務省では地域運営組織の形成に必要な経費を交付税による財政支援措置を講じているが、当市のコミュニティ協議会を国が進めている地域運営組織として形成できないか市長の見解を問う。

**答** 地域運営組織は市がコミュニティ協議会に求める方向性と同一と考える。今後も地域課題の解決に向けた取り組みを支援していきたい。

# 湯之谷小学校の消雪井戸工事について問う



大桃 聡 議員

**答** 過大な設計を行ったものではない

**問** 水のほとんど出ない所を401メートルも掘り、240メートルに耐圧ポンプを入れて、1メートル当たり8、200円もするグラスファイバー管を使い削井工事、ポンプの設置で約3、000万円かかっている。

少し西側の交差点に県が掘った消雪井戸は、深さ60メートルで総工費が約1,500万円だ。差額の約1,500万円は無駄で、市に損害を与えた担当者、責任者の背任行為だと思うが、処分をどうするか。

さまざまな条件を勘案して設計・施工しており、決して過大な設計を行ったものではない。したがって、市に対して損害を与えたとは考えていないので、担当者、責任者を処分する考えはない。

**問** 任期途中で放り投げられるのは無責任のそしりを免れないと思うがどうか。

**答** 慰留をしたが本人の意志が固く、提出された辞職の申し出を拒否する正当な理由はないと判断し受理した。

齋場建設用地の瑕疵担保請求について

**問** 1 債権だという証拠書類はあるのか。  
2 市が行っている架空請求の振り込め詐欺未遂事件だと思うがどうか。

**答** 1 債権証書はないが、民法の規定による損害賠償請求権が市の債権であると認識している。  
2 瑕疵担保責任に基づく正当な損害賠償請求であると考えている。

### 市有施設の削減計画を問う



佐藤 肇 議員

**答** 将来の市政運営を見据えて取り組んでいく

**問** 市では公共施設等

管理計画及び再編整備計画で、今後20年間に予想

される施設の維持管理、更新費用を30%削減する目標を示した。サービスに直結する公民館、集会所、体育館、公園など

今あるものをなくすことに、市民の理解を得ることの難しさは想像に余る。

**1** 国は、住民提供サービス別に人口当たりの延べ床面積の指標を示している。魚沼市の場合、県平均を大きく上回り、近隣の小千谷市の約2倍となっている。この数値をどう捉えているのか。

**2** 利用者が限定されるものや資産価値があり民

間に売却や譲渡が可能なものがある。どのように進めるのか。

**3** 統合後の入広瀬中学校の校舎はどうするのか。  
**4** 市民の理解と意識改革が必要だ。市長の方針を問う。

**答** **1** 県内平均及び

全国平均を大幅に上回っており、公共施設の再編は避けて通れない課題だと認識している。

**2** 地元の意向を伺ったうえで、できるところから積極的に譲渡を進めたい。また、建設時に国庫補助金等を投入したこと

により譲渡処分が制限されている施設は、指定管

理者制度や部分委託を進める。

**3** 市役所既存庁舎等利用市民検討会において地元の方々から検討いただいた結果、解体すべきとの意向が示されたことから、現在の計画素案で

は解体する予定である。

**4** 市民が安全に安心して使っていたくことが大前提だが、将来の財政負担の軽減と、民間による地域の活性化や雇用の

創出の期待もあることから、公共施設の再編を早期に実施したい。

### 小・中学生を対象とした応急手当短時間講習の普及を



星野みゆき 議員

**答** 保健体育教諭・養護教諭の意見を聞き検討したい

**問** 小・中学生のうち

から、トレーニングキットを活用した、応急手当短時間講習を授業カリキュラムに組み込む必要があると思うがどうか。

**答** 現在も小学校では応急処置の仕方を、中学校ではAEDの使用法を

含む心肺蘇生法等の学習を行っている。この内容と照らし合わせ、市教育振興会の保健体育部会や養護教諭部会の意見を聞きながら検討したい。

**問** 素晴らしい景色や

食べ物を県内外に伝え、実際に魚沼市へ足を運んでもらえるような新たな情報発信ツールとして、魚沼市独自の個性あるインスタグラム公式アカウントを開設してはどうか。

**答** 市では写真や映像

の活用手段としてフェイスブックを開設しており、新たなアカウントの開設は考えていない。市観光協会がインスタグラムを活用して本市の情報発信を行っているので、この

取り組みを紹介していく。





# 魚沼市の債権回収について問う



大平 栄治 議員

**答** 法に基づいた対応をしている

**問** 平成28年度決算で、斎場用地の前地権者に対する2,700万円余りの弁償金を未収金として計上している。市の行政手続の不備で無効だと指摘してきたが、全額収納できるのか。

張に対し新潟地方裁判所から却下の判決が出ていますが、さらに上級審で争われ判決が確定していない。したがって、現在は催告状の送付のみとして

**2** 民法の規定による損害賠償請求権が市の債権

**2** 債権証書も、ごみの状況写真も、撤去している写真も、地権者の立ち会い写真もない。世間で問題となっている架空請求事件と同じではないか。

**3** 回収できなければ魚沼市の損害となる。執行した前市長と、承認した議員の責任ではないか。

**答** 1 この瑕疵担保請求は、「違法公金支出金返還請求事件」で原告の請求は無効であると主

張られた。市長からも「旧井口小学校の体育館1階部分に」との話があった。その後、具体化の話はないが、どうなったのか。

**2** 適当な遊休施設がないのであれば、市有地に新設を考えてはどうか。

**問** 1 ボウリング施設再建を求めらる5,000人近い署名が市長に届

くられた。市長からも「旧井口小学校の体育館1階部分に」との話があった。その後、具体化の話はないが、どうなったのか。

**2** 市が建設主体となることは困難だが、条件が整う場合には市有地を提供することも可能になる。候補地の相談には応じたい。

**答** 1 旧井口小学校をボウリングの用途に転用することが都市計画法において制限されており、地元の合意も整っておらず、現状では難しい。

**2** 市が建設主体となることは困難だが、条件が整う場合には市有地を提供することも可能になる。候補地の相談には応じたい。

**3** 新潟地方裁判所の判決は、前市長に対する損害賠償請求を棄却するものとなっている。

**問** 1 ボウリング施設再建を求めらる5,000人近い署名が市長に届

# 「子どもだけで作る弁当の日」の実践を



高野甲子雄 議員

**答** 学校で慎重に判断することになる

**問** 「子どもだけで作る弁当の日」は「家庭で子どもだけで弁当を作り、学校に持ってくる」というものである。子どもたちの「自分の存在価値を認めてもらいたい」との欲求は大人が思うより強いと言われる。この実践活動「してもらい喜び」から「してあげる喜び」

までいく。5年生の家庭科授業で実践してはどうか。

**答** 有意義な取り組みだと認識しているが、家族構成や経済事情など家庭の事情が異なり、学校で慎重に判断することになる。今後も栄養教諭等と連携し、食育の取り組みを推進していく。

**問** 市の農政は米を主体に農畜複合型を進めべきと思うが、農政への決意を問う。

**答** 従来から地元酪農組合と連携し、堆肥を水田に還元するなど、循環型農業を実施している。今後も耕畜連携を図っていく。



### 新庁舎の雪冷房を問う



富永三千敏 議員

**答** コスト面で公約に反するので雪冷熱は採用しない

**問** 延床面積6,500平方メートル、30億円規模の新庁舎建設基本計画としたのち、市民に説明した基本設計について問う。

**1** 雪冷熱冷房を取り入れる場合のインシヤルコスト、ランニングコストの比較計算はどのような方式を想定して行ったか。

**2** 雪冷熱冷房は再生可能エネルギー補助金を使うと初期費用の増加分は約2,330万円となるようだ。今後20年、30年の使用と雪国魚沼の魅力発信効果を考えれば高くない。雪冷房を取り入れるべきと思うかどうか。

**答** 1 基本熱源をガス方式とし、市民ロビーなど一部の区画において雪冷熱や木質燃料等と併用できないか検討した。

**2** ランニングコストは低くなるが、初期導入経費が高く、20年の単純差引でも600万円弱の費用が多かかるという試算になった。公約としてきた30億円、7,000平方メートルを超えることになるため採用しない。

**問** 1 公募して決定しなかった建設候補地を、2市1町の検討会で広域の中間地点を想定して選

定中だ。当市内のごみを処理する収集運搬委託業者と廃棄物処理法許可業者の各業者の営業の見通しはどうか。

**2** 市内各事業者の事業継続のための手立てをどのようにするか。

**問** 1 現在の業者等の状況と大きく変わらな

**2** 一般家庭のごみ収集運搬委託業務は今後も継続していく方針である。なお、事業所ごみの収集運搬許可業者は個人企業であることから、市が指示等を行う立場ではない。

**問** 団塊世代の方が全て後期高齢者となる2025年、要介護認定者が最大になる2035年は、現在でも介護人材の人手不足は深刻であるが、さらに深刻化する。この課題解決には地域で高齢者・障害者など全ての

人々が、支え合い高め合う「地域共生社会」の実現を目指す必要があるが、それには福祉関係者だけでなく地域住民が主体的に取り組まなければ実現できない。

**1** 住民への周知活動に力を注ぐ必要と支え手を育成する保健委員の配置をお願いしてはどうか。

**2** 健康ポイント制度に加えて、支え手として参加することへのインセンティブとしてのボランティアポイント制度の導入と、ボランティア活動を積極的に活用して介護職員の処遇改善施策を提案するかどうか。

**3** 平成30年度に高齢者と障害者が同一の事業所でサービスを受ける共生型サービ事業所が新設される。こうした新たな制度が実施できるよう市が率先して理解が深まるような機会を企画してはどうか。

**答** 1 よい提案だと

思うが、地域の負担に考慮する必要があり、慎重な検討が必要と考える。

**2** ボランティアは多くの方がさまざまな形でっており、関係課による協議も必要であることから今後の検討課題とした。ボランティアを活用した介護職員の処遇改善についても、それぞれの役割分担もあり、事業所で慎重に検討いただく必要がある。

**3** 事業所の統合を行政主導で進めることはできないが、関係者が意見交換する機会が必要だと思



渡辺 一美 議員

### 「地域共生社会」実現に向けて必要な取り組みは

**答** 助け合い、支え合いにより住みよい地域づくりを目指す

## 国保税は所得に応じて(応能割中心に)徴収を



大屋 角政 議員

**答** これまでどおりとする

**問** 国保制度には構造的

問題がある。1つは、現在の国保加入者約8割が「無職」と「ワーキングプア」だ。2つは、被

保険者の所得の激減による会計の財政難、国保税

の高騰、滞納者の増加と悪循環に陥っている。国

は構造的問題の解決なしに都道府県化を来年度か

ら行う。全国知事会は1兆円増額の財政負担を国

に求めたが、国は3、500億円にとどまった。

1 国保制度の構造的問題をどう捉えているか。

2 平成30年度からの魚沼市の保険税の算定はどのような方法で行うのか。

3 国保の目的は社会保

障だ。短期保険証や資格証を発行すること自体が

違法ではないか。

4 生活困窮に陥った場合、国税徴収法の要件に

合致すれば「執行停止」できる。事例はあるか。

5 条例に生活困窮者の減免規定を明記すべきでないか。

5を基本とし、低所得の方には均等割、平等割な

どを世帯の所得に応じて軽減する。

3 未納者と個別に相談しながら交付している。違法ではないか。

4 平成28年度には18人に対し行っている。

5 災害で著しく被害を受けた方や所得が皆無になるなど生活が著しく困難になった方を対象に、

減免について規定している。

**答** 1 指摘のとおり構造的な問題を抱えており、国に対し公費を確実に投入するよう全国市長会を通じて要望していく。

2 県から示される納付金額の算定結果などをもとに本市で算定する。応能負担と応益負担の割合は、これまでどおり5対

## 魚沼市内スキー場の今後の運営を問う



大桃 俊彦 議員

**答** 事業者と協議をしながら方向性を判断したい

**問** 基本方針が示され

ないまま必死の運営が続く各スキー場。平成31年

度以降は各スキー場事業者が対応する運びとして

いるが、これでいいのかわりに、これでは魚沼市からスキー

場が消えてしまう恐れがある。市長の見解を問う。

1 魚沼市の各スキー場がもたらす魚沼市への役割は何だと考えるか。

2 検討委員会を官民一体となり立ち上げて議論し、今後のスキー場方針を検討すべきと考える。

少なくともスキー場関係者との対話は必須と考えるがどうか。

**答** 1 冬期間の誘客

施設の核であり、貴重な雇用の場であるとともに、子どもたちが冬季スポーツを通じて雪に親しみながら地域への愛着を養う場と考えている。

2 スキー場に特化した

検討委員会等の組織化は考えていない。事業者と協議を継続しながら方向性を判断したい。

育館の無料開放日を設け、

家族で運動したいなどの声が多数ある。利用状況を確認し、現状に合った

料金や利用体制を見直し検討すべきと考えるが、

市長の見解を問う。

**答** 料金については本市が特に高いという認識はない。無料開放は、指定管理の施設と市直営の施設があり、それぞれ利用・管理の状況等も異なることから調整を図る必要がある。

**問** 魚沼市の体育館は、

利用料金が高いなどで少額料金の近隣自治体施設

を利用する若者が増えて

いる。また、空き利用体

要がある。

### 市長の政治姿勢を問う



岡部 計夫 議員

**答** 市民との対話を進めながら市政進展に努めていく

**問** 1 市長の公約で、市民との対話集会で市民の声を聞かせていただき市政に反映するとしていた。今年度、市内を2度にわたり市民対話集会を開催したが、その中で市民の声をどのように今後生かしていくのか。

2 副市長を総務省から派遣してもらった。当市が抱える人口減少問題を基軸とし、農業、商工業、観光、福祉・医療等の分野において、また、子育て世代の支援策として雇用の場の確保など、どのような政策で取り組むのか、市民は関心を持っている。市民に明確な方向を示してほしいがどうか。

3 市民の理解を得る方法として、ワークショップや市民検討委員会、パブリックコメントなどがあるが、ほかに市民の声を聞く方法を考えているか。

「東日本連携・創生フォーラム」への参加など新しい取り組みも進んでいる。さらに国や県と連携しながら市民ニーズに添えていきたい。

**答** 1 いただいた意見が全て政策に反映できないものではないが、市役所職員で共有し、解決に努めてきた。現在は若者世代の団体や子育て中の女性サークルなどの対話を行っている。来年度も引き続き実施する。

2 副市長には半年間、その人脈と知識、能力で精力的に取り組んでいただき、課題解決に進んでいる案件がある。また、

3 多くの市民の意見を引き出せるよう、さまざまな機会に出席するよう努めるとともに、将来を担う若者の意見を多く聞ける場に出席したい。

1 相談窓口、検診機能を持つ保健医療センターを障害者福祉計画に載せるべきではないか。

2 新規事業所開設の補助を引き上げ環境整備すべきではないか。

3 相談窓口、検診機能を持つ保健医療センターを障害者福祉計画に載せるべきではないか。



大平 恭児 議員

### 精神保健医療センターは必要だ

**答** 障害者計画・障害福祉計画策定作業において検討する

**問** 1 精神障害者の家族や関係者から医療費や通院などの経済的負担をはじめさまざまな問題があると聞く。どのような認識を持っているか。

2 重度心身障害者医療費助成は精神障害1級しか対象とならない。実態に即して対象を広げるべきではないか。

3 センターのな施設が必要なのか、既存施設の連携で対応が可能かなど、障害者計画・障害福祉計画策定の作業の中で方向づけたい。

4 市内には精神障害に特化した入所施設がなく、ほかの障害者施設でも職員確保に苦慮している。施設の不足状況について人数把握をしながら検討したい。

**答** 1 平成30年度からの国の米政策転換により、所得に大きな影響が及ぶことになる。市としては今年度から3年間、農業機械の更新・整備経費に対する独自支援制度を創設した。

2 関係機関・団体が開催する研修を周知し、スキルアップに活用いただいている。

**問** 1 担い手農家の現状は、どのような問題

と要望があるか。抜本的に担い手支援を強める考えはないか。

2 農家自身の販売や経営のスキルアップを図る必要がある。研修や育成等の現状はどうか。

農業後継者について

一般質問 (通告順)

子どもたちのメディアコントロールは



本田 篤 議員

**答** 保護者の本気を引き出す  
取り組みを継続していく

**問** 魚沼市の子どもたちは、「毎日テレビ・ゲーム・スマホ・パソコンをする」が5割を超え、しかも2時間以上が3割を超えている。子どもたちの学力や生活力にも影響が出ていると見受けられる。教育現場からメディアコントロールを積極的に取り組むべきではないか。

**答** 民間個人や企業が大切である。入広瀬小・中学校では、大学の先生による講演会を開催し、保護者に対して心身の健康維持の面からメディアコントロールの重要性を呼びかけている。今後有望ましい生活習慣の育成を目指し、取り組みを継続させたい。

**問** 数年前から取り組みを行っており、市内の全小中学校で年2〜3回実施している。メディアコントロールは、家庭で保護者と子どもが主体となっていくべきものであり、メディアコントロールの必要性に対する保護者の本気を引き出すこと

**答** 動画サイト「ユーチューブ」で、市民向けに動画撮影の技術支援を行うなど、市民ユーザーを育成し、魚沼からの発信力を高め、「まちおこし」につなげられないか。

**問** 動画サイト「ユーチューブ」で、市民向けに動画撮影の技術支援を行うなど、市民ユーザーを育成し、魚沼からの発信力を高め、「まちおこし」につなげられないか。

**答** 現在ある救済制度のほかに市独自の見舞金支給は考えていない。予防接種の有効性とあわせてリスクについて、引き続き周知していく。

**問** 予防接種の副反応による健康被害が生じた場合、市独自の見舞金支給など、救済制度を設けてみるべきではないか。

**答** 民間個人や企業が大切である。入広瀬小・中学校では、大学の先生による講演会を開催し、保護者に対して心身の健康維持の面からメディアコントロールの重要性を呼びかけている。今後有望ましい生活習慣の育成を目指し、取り組みを継続させたい。

行政視察報告

10月18日、19日に全議員で  
先進地行政視察を行いました。



**視察先** 埼玉県飯能市

**目的** タブレット端末を導入した議会運営について



**視察先** 東京都あきるの市

**目的** 議会広報の編集について



**視察先** 静岡県熱海市

**目的** 熱海リノベーションまちづくり実行委員会の活動について



小出特別支援学校高等部に「なごみカフェ」を開設していただきました

小出特別支援学校高等部の生徒さんが、接客サービス学習の一環として、12月7日の本会議の休憩中に議員や職員にコーヒーを提供する「なごみカフェ」を実施していただきました。

おいしいコーヒーと手作りの焼き菓子を、温かく心のこもった対応で提供いただき、議員、職員ともに議会中にホットひと息つく時間を持つことができました。

生徒の皆さん、ありがとうございました。



# 総務委員会報告

11月8日

## 1 定員管理について

総務課長より、平成32年4月からの庁舎一本化に向けた組織機構の見直しと窓口サービスの提供方法について検討を進める。また、法改正により平成32年4月1日から、非常勤職員が「会計年度任用職員」という名前に替わる。各地方公共団体においては「それまでに臨時・非常勤職員全体の整理をし、任用根拠の適正化、会計年度任用職員制度の整備検討を進めた作業を行うこととしてい

る」との説明を受け、質疑を行った。

【問】行政サービスの体制、窓口、受託者募集等との記載があるが、指定管理者制度の関係と理解

【答】職員がするのか、委託するかという検討を進めており、委託する場合には受託者を募集する必要があるので「受託者募集等」と記載している。

12月11日

## 1 審査事件

議案第81号〜85号・88号 ※原案のとおり可決すべきものと決定。

2 二市一町新ごみ処理施設（リサイクル施設）について

【問】二市一町の中の一カ所に集めてリサイクルをするのを考えているのか。

【答】1カ所で、民間でできる方があれば手を挙げていただきたいと説明させていただきます。

【問】自治体ごとにやるべきではないか。



【答】二市一町の基本的方針では1カ所としているが、まだ完全に決まった段階ではない。

【問】役割と責任を明確にして募集をしなければ、手を挙げる人はいない。ごみ処理施設等との連携なども含めて計画しないと無理ではないか。

【答】両市に資源化できる処理施設を持つ企業は数社ある。そうした企業に協力いただけるかどうか。企業の営業活動を阻害してしまうようなことがあってはならない。積極的に協力いただきたいながら、ごみの排出量を算定し、計画していくべきと考える。

【答】両市に資源化できる処理施設を持つ企業は数社ある。そうした企業に協力いただけるかどうか。企業の営業活動を阻害してしまうようなことがあってはならない。積極的に協力いただきたいながら、ごみの排出量を算定し、計画していくべきと考える。

# 福祉文教委員会報告

11月8日

## 1 現地調査

市内にある3カ所の福祉施設を訪問し、施設責任者及び市担当者から説明を受けながら視察を行った。

## 2 現地調査の総括

### サポートセンターすわ町

2階部分に看護小規模多機能型居宅介護施設があり、市内では初めての施設だ。すばらしい施設だと思うが、利用料を考えると、国民年金だけ入れる施設ではない。市としては低所得者でも入れる特養のような施設整備も目指すべきだとの意見があった。

【問】施設の老朽化と現行制度下では不適合なところがあり、単純な改修工

【答】施設を事業者に譲渡する方向で検討している。また、雪の重さで屋根瓦が割れることから屋根の全面改修を検討している。

【問】施設の老朽化と現行制度下では不適合なところがあり、単純な改修工

【答】施設を事業者に譲渡する方向で検討している。

では対応できないようだ。次年度に、建て替えがあった。

【問】施設の老朽化と現行制度下では不適合なところがあり、単純な改修工

【答】施設を事業者に譲渡する方向で検討している。

【問】施設の老朽化と現行制度下では不適合なところがあり、単純な改修工

【答】施設を事業者に譲渡する方向で検討している。

【問】施設の老朽化と現行制度下では不適合なところがあり、単純な改修工

【答】施設を事業者に譲渡する方向で検討している。

【問】施設の老朽化と現行制度下では不適合なところがあり、単純な改修工

【答】施設を事業者に譲渡する方向で検討している。

# 産業建設委員会報告

10月11日

魚沼市有機センターの現地視察と総括を行い、臭気及び職場環境について確認した。臭気の改善について先進地である栃木県那須塩原市を視察することとした。

11月27日

## 行政視察

栃木県那須塩原市の「真嶋牧場」を視察し、吸引通気式堆肥化について説明を受け、質疑を行った。

12月13日

## 1 審査事件

議案第86号・87号・91号

※原案可決すべきものと決定。

2 梅雨前線豪雨災害について

3 行政視察(11月27日) 総括  
4 今後の米政策について

執行部より、平成29年7月に発生した梅雨前線豪雨災害の査定箇所について説明を受け、質疑を行った。  
問 今回の災害復旧工事は地元業者を優先したか。やむを得ず市外の業者を使わなくてはならない事例等があったか。  
答 復旧工事に関しては市外業者を使っていないが、災害査定に限られた期間の地元測量会社が対応できない部分について市外業者にお願いした。

問 かなり時間が経過してからわかった小規模な崩壊等についての対応はどうしたか。  
答 後から申請や相談に來られることも相当数あったが、全てに対応した。

問 国の減反政策補助金等が撤廃されるに当たり、魚沼市が独自の農業政策をやるとの答弁が一般質問においてあったが、当委員会には、いつ報告ができるのか。  
答 12月11日の農業再生協議会の総会で方針等が決定された。これに基づき、次の委員会で報告したい。



「サポートセンターすわ町」視察

## 2 第7期介護保険事業計画について

執行部から素案が示され、質疑を行った。今後は策定委員会の審査を経て、計画案が公表されることになる。

## 3 その他

食まらうおぬま推進事業の冬のイベント実施について報告があった。

小出病院について、道路外構工事が完了し、12

月26日から通行できる予定であること、療養病床で医療区分2・3の患者が少なく赤字となる見込みとの報告があった。

そのほか、国民健康保険・後期高齢者医療保険の動向について、介護認定審査の状況と問題点について、通学路の歩道除雪について、執行部に質

疑を行った。

問 梅雨前線豪雨災害について

問 梅雨前線豪雨災害について

問 梅雨前線豪雨災害について

問 梅雨前線豪雨災害について



「真嶋牧場」視察

# 議会改革特別委員会

10月5日

1 今後の取り組みについて

● 政務活動費の収支報告書等の公開に向けて調査すべきである。

● 委員会のインターネット映像配信の検討をすべきである。

● 決算書は認定後にホームページに掲載されるべきと考える。議案のインターネット公開について調査したい。

● 資料請求のあり方について、議会運営委員会に意見を上げてはどうか。

● タブレット端末については前委員会でも議論しており、引き続き導入に向けて調査、検討したい。

● 議場にパソコンやタブレットを持ち込み、端末

内の資料を使用できるように検討すべきである。

● 議会報告会のあり方について協議する必要がある。

● 議員定数について早急に議論すべきである。

● 一般質問の時間制限についても、議員の質問時間をきちんと確保できるような仕組みを検討すべきである。

※これらの事項について、順次調査していくこととした。

2 一般質問通告期限について

● 通告期限から一般質問までの期間が短い市議会では職員が非常に大変だと聞いている。しかし、

当市議会は約14日であり、県内でも一番長いほうになる。もう少し短くすべきである。通告から

期間があると質問内容が旬ではなくなる恐れもある。県内で一番多い7日間くらいになるとよい。

※当委員会としては、一般質問の通告期限については、県内他市の状況を踏まえ、通告期限から一般質問までの日数を7〜8日が望ましいとした。

3 平成29年度魚沼市中学生議会について

魚沼市議会として初めての試みであり、中学生

期間があると質問内容が旬ではなくなる恐れもある。県内で一番多い7日間くらいになるとよい。

※当委員会としては、一般質問の通告期限については、県内他市の状況を踏まえ、通告期限から一般質問までの日数を7〜8日が望ましいとした。

3 平成29年度魚沼市中学生議会について

魚沼市議会として初めての試みであり、中学生

1 市役所既存庁舎等利活用市民検討会開催結果報告について

6月から9月にかけて開催された市民検討会の結果について報告を受け、質疑を行った。

議会が成功に終わることができるよう準備することとした。



## 公共施設再編整備特別委員会報告

10月16日

1 市役所既存庁舎等利活用市民検討会開催結果報告について

6月から9月にかけて開催された市民検討会の結果について報告を受け、質疑を行った。

議会が成功に終わることができるよう準備することとした。

問 利活用方針の検討にあたっては、既存庁舎の跡地利用を考えた後に、周辺地域にある施設の利

用を考えた説明を受けたが、市営住宅や集会施設については、どのような検討を行ったのか。

答 公営住宅は、魚沼市公営住宅整備方針等をもとにしており、集会所については、基本的には地域の管理に任せている施設であるため、譲渡する方向で考えている。

問 既存庁舎については、今後、民間団体等が活用するところもあるかと思うが、今までのように全部市が維持管理するならば経費が削減されない。検討会で管理形態についての議論はあったか。

答 指定管理になるのか管理委託になるのかによっても状況が変わってくる。いずれにしても、空き庁舎の建物そのものに行政機能が全くなくなるのであれば、民間にある程度管理を委ねることもできると思うので、これから詳細について議論する中で検討したい。

問 保育園については、更新時期にあわせて統合するとともに民営化を検討したほうがよいとされている。民営化したほうがいいという根拠、理由は出ているか。

答 民営化した場合、柔軟な運営体制がとれる。それから共稼ぎ世帯にとつて受けやすいサービスができるほか、職員待遇の面でいろいろと融通がきくと期待している。また、施設の改築、建て替えを行政が行う場合は国の補助を受けられないが、民間団体等が事業主体となつて実施する場合であれば国費が入ってくる。そういった部分で民営化したほうが優利になる。

2 今後のスケジュールについて

3 月には計画を成案化したということだ



が、その後、個々の物件は、案に沿って解体や修繕という計画を立てているのか。

**答** そのように考えている。

**問** 旧町村ごとに最適な施設の数や、必要施設の最適面積はどうなっているのか。

**答** 一律に設定できるものではないと考えており、現段階では示していない。

**問** 人口減少していく中、施設を複合化しひとつにまとめて、そして、必要なくなったものを除却していく。それと運営母体を決め市役所の負担を軽くしていくことがセツトだと思う。

**答** 今回行った検討会では、地域の中で施設を主に使う方や、その地域に住んでいる方々から議論いただいた。具体的な運営団体が決まっていない



施設がある状況にあって、議論できる範囲は限られるため、その後の調整は必要となる。

**問** 公共施設再編整備計画について、国はどのような方向性を示しているか。スケジュールはどうか。

**答** 公共施設等総合管理計画の下に個別計画をつくるように国は示しているが、いつまでにつくらなければならないという指針はない。

## 平成29年第2回議会報告会を開催しました

魚沼市議会では、議会基本条例第7条の規定に基づき10月31日、11月1日、5日の3日間、6会場で議会報告会を開催しました。

6会場あわせて72名の市民の皆様から参加いただきましたが、今回は若い方の参加が増え、市議会への関心の高まりを感じることができました。

皆様からいただいた貴重な意見を、今後の市政運営に反映していくよう取り組んでまいります。

### いただいた主な意見 — 委員会で調査・検討していきます —

- 7月の豪雨による市全体の被災状況がわからない。知らせてもらいたい。
- 入広瀬スポーツセンターの雨漏り対策をしていただきたい。
- 小学校の学校統合を将来的に考えていくべきではないか。
- 7月の豪雨により大きな被害が出た。今後の災害対策はどうか。



- 観光振興に向けて専門部会や専門家の要請、予算の増額など検討してほしい。
- 議会としても中山間地の農業を考えてほしい。
- 公共施設再編整備計画があるが、利用できる施設もある。残せるものは残してほしい。
- 空いている学校などの施設を福祉施設やコールセンターなど民間に譲渡して活用してほしい。
- 7月の豪雨時に本会議を続行していた。議会は災害対応を優先すべきである。

**調査の経過は、議会だよりで随時報告していきます。**

# 中学生議会を開催しました

11月17日に平成29年度魚沼市中学生議会を開催しました。この取り組みは、中学生が政治について学習する中で市政や市議会をより身近に感じてもらい、将来の魚沼市を担う中学生の考えを市政に反映できる機会となるよう、模擬議会として開催したものです。

今年度は湯之谷中学校3年生54名が魚沼市について学習したうえで、議長2名、議員20名のうち代表生徒8名による一般質問を行いました。

## 少子化対策について



石井恒希 議員

**問** 1 スウェーデンでは「スピードプレミアム」という、子どもを産む間隔を短くすると優遇される制度や、高い育児給付金などがある。魚沼市ではどのような対策をしているか。

**答** 1 市では妊娠・出産に係る医療費や健診の助成をしている。また、2人目以降の子どもに係る保育園や幼稚園の費用を無料にするなど、お金の負担を軽くする取り組みをしている。

2 スウェーデンでは税金の額が高く、魚沼市で

取り入れると市民に大きな負担を求めることになるので慎重な検討が必要だ。3 医師や看護師が不足している。まずはスタッフが来てくれるように取り組んでいる。皆さんからも医療の仕事に関心を持ってほしい。

## よりよいまちづくりについて



井口睦季 議員

**問** 1 よりよいまちにするために魚沼市に足りないことは何だと考えるか。

**答** 1 都会のような賑わいが足りないと思う

が、逆に豊かな自然環境に恵まれており、魚沼産コシヒカリのように全国に誇る農産物の産地でもある。賑わいが生まれるまちづくりに取り組んでいく。2 市内にはたくさん公園があるほか体育施設やレクリエーション施設もある。大勢の人から利用いただきたい。3 国際雪合戦や根小屋公園のシバザクラまつり、夏の雪まつりなど四季を通じて多くのイベントを実施している。もっと積極的にPRし、大勢の人に来てもらえるよう関係者と一緒に考えたい。

## 魚沼市の財政について



櫻井乃愛 議員

**問** 1 これから人口が減っていくと歳入が減ると思うが、歳入を維持または増加させる対策はあるか。

2 借金は早く返したほうがよいと思うが、そのためにどういう取り組みをしているか。

3 ふるさと納税の返礼品に工夫していることはあるか。

**答** 1 税金の収入を増やすためには人口や観光客の増加と、市の予算を道路整備などに積極的に投資して市内の経済を活性化していく必要がある。2 借りなくて済む場合は借りず、借りる場合でも国が返済額の70%を補てんする有利な地方債を利用するなど、効果的な財政運営を心がけている。3 お米を月単位で連続してお届けするコースや観光ツアー、スキーや温泉の体験型返礼品も用意している。

## 電車の利用促進について



五十嵐日菜 議員

**問** 1 魚沼市の電車

の本数が少ないと感じる。特に通勤通学に利用する人が多い朝の電車の本数が少なく不便だと思いが、市としてはどう考えているか。

2 もっと快適な電車利用を実現するには、「スイカ」などのICカードシステムを導入するべきだと思いが、魚沼市が財政面で支援することは可能か。

3 「利用したい駅」づくりを実現するために、大手チェーン飲食店を駅の中につくれば利用客が興味を持ち、駅だけでなく電車の利用も増えると考えているが、この提案についてどう思うか。

**答** 1 電車の本数は少なく不便な面があると思う。本数を増やすためには大勢の皆さんから電車を利用していただくことが必要であり、利用者を増やす取り組みを進めたい。

2 市からJRにシステムの導入をお願いし、その結果お金の支援を求め

られた場合には市の支援が必要と考える。

**3** 話題性のある料理を提供するなどほかの駅にないサービスを提供できれば、利用者の増加も考えられる。とても夢のある提案であり参考にしたい。

**観光について**



青木悠太 議員

**問** **1** 魚沼の観光PRについて、これからどのような活動をしていく予定か。また、若い観光客を増やすために建物や店の看板を新しくして、景観をよくしてからPRしてはどうか。

**2** 魚沼市は「雪国」を生かした活動を目立たせる必要があると思うがどうか。

**3** 魚沼市のスキー場は、夏に利用されることが少ない。スキー場を夏にも利用できる施設に整備してはどうか。

**答**

**1** インターネットを活用した魚沼市のPRを継続していく。また、景観をよくしてPRすることはよいアイデアだと思う。

**2** スキーのほか雪により育まれた食文化や歴史などとあわせて、国内外に魚沼市の冬の魅力をPRしていきたい。

**3** スキー場は景色もよく、水道やトイレなども整備されているのでキャンプなどに適した場所である。よい提案をいただいたので参考にしたい。

**観光について**



大桃はづき 議員

**問** **1** 観光客をより増やすため、「ユーチューブ」等の動画投稿サイトに魚沼の8つの温泉で撮った、踊ってみたなどの動画を投稿してはどうか。

**2** 冬場の観光客をさらに増やしていくため、外

国人向けにホームページや道の駅、宿泊施設を整備するなど、外国人観光客を呼び寄せる取り組みを行ってはどうか。

**3** 魚沼市内の温泉全てに共通しているフリーパスをつくり、さまざま温泉を楽しんでもらうのはどうか。

**答**

**1** 注目を集めるひとつの手段であり、動画投稿とあわせて魚沼市の魅力をもっと伝えていくことが重要だと思う。

**2** ホームページの外国語表記や英語音声のPR動画を製作しているが、まだ効果が見えていない。今後も施設の外国語表記や外国人受け入れ施設の整備などに取り組んでいきたい。

**3** 市内には多くの温泉があり、共通フリーパスは魅力的な商品になる。関係者との話し合いが必要だが、夢のある提案だと思う。

**人口減少問題について**



浅井佑斗 議員

**問** **1** 魚沼市の人口が激しく減っており、「将来は都会に住みたい」という声を聞くことがあるが、それについてどのような対策をとっていくのか。

**2** 魚沼には若者が遊べる施設がなく、暮らしにくいのでつくってほしいがどうか。

**3** 魚沼市には魅力的な職業が少ないのではないかと。せつかく魚沼に住みたいと思う人が働ける場所を確保すべきではないか。

**答**

**1** 市内に魅力的な働く場をつくることや、安心して住めるよう医療機関を整備したり、道路を整備して交通の便をよくしたり、子育てしやすい環境づくりなどを進め、生活しやすい環境をつくっていききたい。

**2** 自然を体験できるキャンプ場や公園などおも

**人口問題について**



渡邊康太 議員

いっさり体を動かせる場所がたくさんある。ぜひ利用してほしい。

**3** 市では大手食品メーカーの誘致に取り組んでいるが、工場以外の企業を市内に誘致することにも取り組みたい。

**答**

**1** 第4次アクションプランの中で産業の振興などを図っているようだが、それにより現状はどのように変化しているのか。

**2** 雇用の拡大とあるが、現在の雇用の拡大はどれくらい進んでいるか。

**3** 雇用数の増加により、人口が増加し、住居が必要になった場合、どう対応するか。

いるが、市の人口が減少している中で求人が増えてきており、企業側では働く人が不足して困っている状況である。

**2** 水の郷工業団地への企業誘致で約100人が働いており、さらに大手企業2社が工場をつくる計画である。

**3** 市内に新たに住宅を建設する人に建築費の一部を補助しており、公営住宅も用意している。また、民間アパートの建築を盛んにする仕組みも検討したい。

**問** **1** 市では企業の新技術・新商品開発などを支援し、新たな雇用が生まれるよう取り組んで



# 市民の声

## 議員、議会に期待すること



下島 八木利夫さん

市議会に関心はあっても、平日の日中に傍聴に時間を割くことは難しいので、先日行われた議会報告会に初めて参加。夜間の開催で、参加しやすいのではないかと思いましたが、なんと出席者と報告者である議員はほぼ同数。内容も個々の議員の発言に対しての意見は控えてとか、一歩引いた司会の発言。  
質問に対する答えも、県・市当局を代弁するかのような発言が多く、報告会など無用とも思えるような内容だった。

議員、議会ともに魚沼市の置かれた現状を認識し、従来の町村型政治から脱却した清新な政治に取り組みないものだろうか。特に、初の議席を得た若い議員に国の援助、補助を期待するのではなく、少しでも減らせるような市づくりの提起を期待します。



大原新田 小林幹夫さん

## 90歳時代がやってくる

平成29年9月18日（毎日新聞）90歳以上の総人口に占める割合は27.7%。人数、割合ともに過去最高を記録したとあった。新潟県内も魚沼市もこの比率は確実に上昇し

ていると思う。

喜寿の時、「情熱の焦点を失うな」と、年をとってもできる仕事、趣味、悔いのない生涯を続けよう。

そしてすぐ傘寿。「教育」（今日、行くところがある）「教養」（今日、用がある）。これは千葉

大学名誉教授、多湖輝先生の言葉です。そして、米寿「ピンピンコロリの法則」を。

5年前、認知症の理解、介護を経験してから自らの状態になってはならないと、言い聞かせて心に留めている言葉と、行動です。

年齢なりにできる海馬の「健康寿命」を伸ばす一手。自ら考え行動しています。



## 本会議の映像配信を しています

本会議の映像をインターネットで配信しています。パソコンのほかスマートフォン、タブレット端末からも視聴できます。魚沼市議会ホームページにアクセスいただき、ぜひご覧ください。  
また、会議録も議会事務局、図書館（室）、ホームページで閲覧できます。

## 議会を傍聴してみませんか



## 「市民の声」の 原稿を募集します

- 字数3500字程度
  - タイトル
  - 住所・氏名  
（匿名での掲載はできません）
  - 顔写真を同封のうえ、お寄せください。  
（顔写真の掲載を希望されない場合は不要です）
- 送り先  
魚沼市議会事務局  
（魚沼市今泉  
1488番地1）

市議会議場は広神庁舎3階にあります。傍聴の手続きは、受付用紙に氏名等を記入するだけです。お気軽においでください。  
学校・各種団体の場合は事前にご連絡ください。  
定例会は年4回（2月、6月、9月、12月）開かれます。  
このほかに、必要に応じて臨時会が開かれます。  
日程は、市報お知らせ版、ホームページでお知らせしています。

## あ と が き

皆様、あけましておめでとございませう。  
お正月に「ごっつお」の食いすぎで正月太りをしている方も多数いらっしゃると思われませんが、皆様いかがお過ごしでしょうか。  
毎年のように除雪の最中に屋根からの落下等、雪に絡んだ事故が起きていますが、これから雪が解けるまでの間は事故のないように市民の皆様には注意をしていただきたいと思います。  
また、雪片付けをして、流雪溝の蓋をかけずにスノーダンプを蓋代わりにしてあるところをよく見かけますが、これは歩行者にとって大変危険です。小さな子ども、お年寄りが転落してしまうと大事故につながりますので、市民全員で注意したいと思いますね。  
寒い冬を乗り越えるのは大変なことですが、雪と仲良く付き合ってくださいませう。  
（浅井宏昭）